

7月10日(金) 15夏季一時金の支給日

前期の企業業績は過去最高益の67億円

夏季一時金には、好決算は反映されず

労働者の皆さん、お早ようございます。
7月10日は、夏季一時金の支給日になりました。

夏季一時金の交渉経過は都度報告させていただきましたが、結果として前期の「史上最高益」を夏季一時金に反映する事は出来ませんでした。反映できなかっただけではなく2010年以来最低の結果で終わりました。

理由としては、「連結決算では利益は上がっているが、単体決算は依然厳しい状況である事」「新規事業への投資に費用が嵩み、ここまでの営業利益があまりでていない事」を理由に挙げていますが、どちらも納得できる事ではありません。

単体決算が厳しいといっても、海外での利益を支えているのは国内に従事する従業員の力によるものであるし、新規事業への投資については今後永続的に企業活動を進めていく為の前向きな支出である事ですから、それを理由とする事は言い訳としか受け取れません。

しかしながら、「一時金支給日が近付いている事」「年末一時金交渉時に企業業績をみて総合的に再検討する事」「最悪、今期利益が予想を上回る見通しがついた場合は、今年2月に支給した感謝金の形での支給を検討する事」を確認して、今回の回答を受け入れる事としました。

15夏季一時金回答内容

・一人平均 708,700円
(基準内比:2.40ヵ月)

基本給比例分:547,586円
考課査定分:136,896円

・契約社員の一時金 基本給×2.04ヵ月

【年末一時金の査定計算方法】

- ・各人の査定額=各人の支給額-各人の家族手当2ヵ月-(各人の基本給×1.9912)
- ・②各人の考課係数=考課査定額÷一点単価(111,392,00円)÷①各人の等級係数

①等級係数

等級	係数
J1	0.60
J2	0.70
J3	1.00
J4	1.25
S1	1.60
S2	1.65
S3	1.70

②考課係数

考課ランク	J	S
S	1.6	1.8
A	1.3	1.4
B	1.0	1.0
C	0.7	0.6
D	0.4	0.2

企業実績と一時金実績推移

年度	経常利益	夏季一時金	年間一時金
2008年	33億4000万円	2.40ヶ月	4.80ヶ月
2009年	11億5600万円	2.00ヶ月	4.04ヶ月
2010年	45億7500万円	2.50ヶ月	5.00ヶ月
2011年	56億4800万円	2.50ヶ月	5.00ヶ月
2012年	52億2100万円	2.50ヶ月	5.00ヶ月
2013年	51億9600万円	2.50ヶ月	5.00ヶ月
2014年	55億0900万円	2.40ヶ月	4.80ヶ月(+0.28)
2015年	67億4800万円	2.40ヶ月	

【契約社員の査定計算方法】

- ・各人の評価係数=各人の支給額÷各人の基本給÷2.04ヵ月

④契約社員の評価係数

A	1.05	B	1.00	C	0.95
---	------	---	------	---	------